

第 1 回神奈川県渋滞ボトルネック検討WG  
議事概要

1. 日時 平成28年2月4日(木) 13:00~14:00

2. 場所 横浜第二合同庁舎 1階 共用第2会議室

3. 出席者

杉崎 光義	(関東地方整備局 横浜国道事務所長)	[座長]
鈴木 秀和(代)	(関東地方整備局 道路部 道路計画第一課 係長)	
丸山 昌宏(代)	(関東地方整備局 道路部 道路計画第二課長補佐)	
松實 崇博	(関東地方整備局 道路部 計画調整課長)	
山中 直人(代)	(関東地方整備局 企画部 広域計画課長補佐)	
増山 靖彦(代)	(神奈川県警察本部 交通部 交通規制課 規制官)	
齋藤 貴(代)	(神奈川県 県土整備局 道路部 道路企画副課長)	
曾我 幸治	(横浜市 道路局 計画調整部 企画課長)	
角野 智史	(横浜市 道路局 事業調整課 横浜環状道路担当課長)	
吉尾 貴充(代)	(川崎市 建設緑政局 広域道路整備室 担当係長)	
橋本 太郎	(中日本高速道路(株) 東京支社 総務企画部 企画調整チームリーダー)	
平田 大輔(代)	(中日本高速道路(株) 東京支社 総務企画部 企画調整チームサブリーダー)	
千葉 隆仁	(東日本高速道路(株) 関東支社 総合企画部 総合企画課長)	
城方 修	(東日本高速道路(株) 関東支社 京浜管理事務所 所長)	

4. 議事

(1) 挨拶

- ・関東地方整備局 横浜国道事務所長

(2) 審議

- ・神奈川県渋滞ボトルネック検討ワーキンググループ運営規則(案)
- ・神奈川県内の状況及び今後の進め方
- ・横浜新道・国道1号・第三京浜の現状・課題
- ・各路線の課題整理
- ・その他

<委員からの主な意見等>

■神奈川県渋滞ボトルネック検討ワーキンググループ運営規則(案)

- ・事務局案どおり決定

■神奈川県内の状況及び課題、今後の進め方について

- ・新横浜周辺から横浜中心方面へ行く際、第三京浜の羽沢ICが東京方面のハーフICであることから利用することが出来ず、主要渋滞箇所が多く存在する一般道を利用しなければならない。
- ・多数ある主要渋滞箇所について個々に対策する場合、多くの予算や時間が必要である。羽沢ICフル化等、第三京浜などを上手く活用し、一般道の渋滞解消に繋がることを期待している。ぜひ検討願いたい。
- ・国道1号の戸塚警察署交差点から藤沢バイパス出口付近は交通混雑が激しいことから、効果的な対策の検討が本WGで行われることを期待する。
- ・横浜新道等の渋滞対策をこのようなWGで検討していくということで、今後議論を深めていきたい。

■まとめ

- ・今回の資料で、ETC2.0等のデータにより実際の速度低下箇所が確認されたことから、次回以降、効果的な対策の検討を関係者で進めていきたい。

以上